

ザンビア支援へユズ狩り

美馬市木屋平で耕作放棄されたユズ畑の手入れを続ける住民らのグループ「わらびの会」が11日、ユズ狩りイベントを開く。毎年開いているイベントは今年で15回目を迎え、収穫したユズによる収益はアフリカ・ザンビアへの支援活動が続けるNPO法人「徳島で国際協力を考える会(TIICO)」(吉野川市)に全額寄付する。わらびの会は当日の作業を手伝ってくれる人を募っている。

【山本健太】

木屋平地区では山間部の傾斜地を利用するなどしてユズの栽培が盛んだが、過疎や高齢化が進み、栽培を放棄する農家が年々増える傾向にあるという。

同地区に定期診療に訪れていたTIICO代表の医師、吉田修さんからザンビアで病気などを理由に多くの子どもが命を落としている状況を知った地区の女性らが98年、「自分たちにもできることを」とわらびの会を設立。地区で放置されているユズ畑に着目し、そこで育てたユズで得ら

あす 美馬の住民グループ

れた収益を全額、TIICOに寄付する取り組みを始めた。

ユズ畑では枝切りなどの手入れを主に同会のメンバーが続け、今年もたわわな実をたくさん付けた。年1回の収穫は恒例行事となっており、例年、地区住民やTIICOのメンバーを中心に作業し、希望者が誰でも参加できるようにしている。昨年は約2300キを収穫したという。

同会は来年以降も取り組みを継続していく考えで、メンバーの一人、廣瀬文代さん(64)は「私も子を持つが、母

参加者を募集 収益NPOへ全額寄付



親として子どもが亡くなるのは本当につらいこと。小さなへ。

ことかもしれないが、できる限りの支援を続けていきたい」と話す。

参加希望者は当日午前9時に木屋平中学校に集合する。

問い合わせは、廣瀬さん(090・4503・0633)

わらびの会のユズ狩りイベントで収穫作業にあたる人たち

＝05年11月、同会提供